

令和2年度 第56回 教育研究論文

本市では、教育研究論文を市内の教職員から募集しています。この事業は昭和41年から始められ、これまで920編以上の応募がある長い歴史をもつ事業です。令和2年度は第56回目となり、教科、国際理解教育、学級経営、総合的な学習の時間、特別活動、主体的・対話的で深い学び等、多岐にわたるテーマでの応募があり、応募総数は7点となりました。2月19日(金)には、船橋市総合教育センターにて表彰式が行われました。(敬称略)

教育長賞 スクールカウンセラーと養護教諭の専門性を活かした心の健康教育
一心の健康チェックの分析とメンタルケア週間等の3年間の実践を通して—
船橋市養護教諭会で研究の基礎を学び、培ったスキルを基に、三山中で出会えた教職員、スクールカウンセラーと共に、生徒の健康を願い取り組んだ「心の健康教育」を論文にまとめる機会をいただいたことに感謝申し上げます。この度は素晴らしい賞をいただき有り難うございました。



三山中学校 養護教諭 今井美子

優秀賞 葛飾小学校 教諭 萩原裕美

優良賞 葛飾中学校 教諭 中上武士

奨励賞

法典西小学校 教諭 安田謙友
湊中学校 教諭 椎名 薫
(共同研究) 教諭 井上多香
養護教諭 小野庸子
スクールカウンセラー 長田美穂

葛飾中学校 教諭 歌津文也
高根台中学校 教諭 志村倫孝



審査員長講評 論文の完成はゴールではなく出発点です。先生方は、この研究をこれからどう「深め」「広げていく」のか。みなさんの研究の深化と広がりが船橋の教育を支えるバロメーターになります。仲間たちとの「縁」を大切に、船橋の教育を支えていってほしいと思います。研究を続けていくことは大変なことです。ぜひ、先生方の研究で船橋の教育を発展させていってほしいと願っています。



日本女子大学 坂田 仰 教授

令和2年度 千葉県教育奨励賞受賞者

県の教職員の中から、学校における教育実践等に積極的に取り組み、優れた実績を上げたとして、千葉県教育奨励賞を受賞された方々を紹介します。船橋市からは5名の方々が受賞されました。

 葛飾小学校 教諭 藤巻正哉 (算数科教育の推進)	 高根小学校 教諭 中台恵子 (音楽科教育の推進)	 御滝中学校 主幹教諭 谷田部健一 (情報教育の推進) [現任校:三山中教頭]	 坪井中学校 養護教諭 赤澤直美 (職務の改善及び推進)	 船橋特別支援学校 教諭 菊池亜希子 (特別支援教育の推進)
---	---	---	---	--

わが校の給食自慢レシピ 大穴小学校編 『にんじんポターージュ』

材料 (4人分)

にんじん(ペースト用)..... 1本(180g)	水..... 3/4カップ(150cc)
バター..... 30g	小麦粉..... 30g
牛乳..... 1と1/2カップ(300cc)	塩..... 少々
鶏肉(1cm角)..... 60g	たまねぎ(1cm角)..... 1個(180g)
にんじん(1cm角)..... 小1本(120g)	サラダ油..... 小さじ1(4g)
水..... 1と1/2カップ(300cc)	コンソメ..... 小さじ1(3g)
砂糖..... 小さじ1/2(1.5g)	塩..... 小さじ1/2(3g)
こしょう..... 少々	生クリーム..... 小さじ1(5g)
パセリ(みじん切り)..... 6g	

作り方

- ① にんじん(ペースト用)は、茹でて軟らかくした後、水を加えながらミキサーにかけて、ペースト状にする。
- ② フライパンにバターを入れて弱火で溶かし、ふるった小麦粉を加える。焦がさないようによく炒め、温めておいた牛乳をダマにならないように少しずつ加える。最後に塩を加え、ホワイトソースを作る。
- ③ 鍋にサラダ油を熱して、鶏肉、たまねぎ、にんじん(各1cm角)の順によく炒める。
- ④ ③に水とコンソメを入れ、一煮立ちしたら、砂糖、塩、こしょうを加える。
- ⑤ ④にAとBを加えて、煮込む。
- ⑥ 生クリームとパセリを加えて、味を調える。

6月の船橋産の旬の食材は、「船橋にんじん」という春にんじんです。「船橋にんじん」は、船橋が誇るブランド野菜の一つで、β-カロテンが豊富に含まれており、中心まで濃いオレンジ色をしています。甘みが強く、にんじん独特のにおいが少ないという特徴があるので、にんじんが苦手な子供も食べやすいです。そんな船橋にんじんをたっぷり使った「にんじんポターージュ」は、子供たちに人気の給食メニューです。

苧草綾香 (大穴小学校 栄養教諭)

4 ひきこもりのお子様のことでお悩みの方は、《ふれあい「夢のふなっこ」》にご連絡ください。
☎ 047-434-6811 火曜日から金曜日 午前10時から午後3時まで

教育情報誌 **まなびの風**



船橋市総合教育センター 〒273-0863 船橋市東町834番地 TEL 047-422-7730

1人1台端末を使った「新しい学び」が始まりました!

Society5.0時代に生きる子供たちにとって、情報及び情報技術を適切に活用できることは必要不可欠な能力になります。文部科学省の示すGIGAスクール構想の実現に向け、船橋市ではICT環境の整備等を進めています(船橋市GIGAスクール構想)。昨年度末には、児童生徒1人1台の端末を各学校に整備しました。これから本格的な運用に向け、市では端末の活用等の教員研修が進められ、「新しい学び」がスタートします。

- * GIGAスクール構想とは
1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、多様な子供たちを誰一人取り残さず、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する構想。
* Global and Innovation Gateway for All の略
- * Society5.0とは
サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合した超スマート社会。全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、今までにない新たな価値を生み出すことで、これまでの課題や困難を克服します。
(例) 自動走行車で移動、工場で自動的にロボットが生産、人工知能AIが人に最適提案 等

- * ICTとは
「Information and Communication Technology(情報通信技術)」の略で、通信技術を活用して、人とインターネット、人と人がつながるコミュニケーション技術のことを指します。
(例) メール、ネット検索、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の利用 等



GIGAスクール構想で目指す授業

これまでの教育実践の蓄積 × ICT → 学習活動の一層の充実 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業づくり

これまでの教育実践とICTのベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す教育を行います。

ICTを活用した学びの実践

 一斉学習 一斉指導による学び	 個別学習 子供たち一人一人の能力や特性に応じた学び	 協働学習 子供たち同士が教え合い学び合う協働的な学び
--	---	--

ICTを活用した授業においては、それぞれの学習場面(「一斉学習」、「個別学習」、「協働学習」)が相互に組み合わせられた学びの場が形成され、ICTの特徴を生かすことでより理解が深まる授業の実現が可能となります。

塚田南小学校が開校しました

塚田南小学校は、1985（昭和60）年に開校した市場小学校以来、36年ぶりの新設校です。目を惹く印象的な外観は、太陽に向かって咲く船橋市の花「ヒマワリ」をイメージしています。



中庭は太陽の光が差し込み、開放感のあるつくりとなっています。



教室前のバルコニーは、ウッドデッキのつくりとなっています。



図書室です。隣のメディアルームに端末を持ち込み、学習することができます。



カウンセリングルームは昇降口から入ってすぐ横にあります。



廊下から見える調理室です。毎日の給食が楽しみになります。



トイレの入口は広く、手前にあるベンチで休めるようになっています。

校歌

作詞・作曲 中嶋深雪
伊井大起

一 希望の風が吹いて
さくら ひまわり かざぐるま
みんな みんな 手をとり合って
輝く光 つくるんだ
いま 今を生きて 塚田南小学校

二 希望の音があふれて
勇気 笑顔 優しい心
みんな みんな 肩寄せ合って
輝く世界 つくるんだ
いま 今を生きて 塚田南小学校

三 希望の虹をえがいて
大地 青空 伸びゆく心
みんな みんな 瞳合わせて
輝く未来 つかむんだ
いま 今を生きて 塚田南小学校

校歌は、塚田南小学校通学予定児童と関連6校職員（市場小・行田東小・塚田小・船橋小・海神小・八栄小）から寄せられた、校歌に取り入れたい言葉やイメージを基に、市内の音楽の先生が制作しました。

参考：市の花（ヒマワリ、カザグルマ）

ヒマワリ（平成19年10月2日制定）…広く市民に親しまれており、太陽に向かって咲き、力強く、将来の船橋市の子どもたちに勇気と希望を与える花です。

カザグルマ（平成19年10月2日制定）…環境省が指定する準絶滅危惧種であり、船橋市に自生している貴重種です。市のシンボルとして大切に保護し、保存していく花とされています。

校章について



舟形に描いた塚田南の「つ」の字を放射状に並べて、市の花カザグルマの形にし、三番瀬の大空に羽ばたく鳥をあしらいました。

東京湾の青をイメージした4色で風車が回転するような動きのある効果をねらい、みんなで力を合わせて新しい学校を創っていく様子を表現しています。

作者 グラフィックデザイナー 奥野和夫さんより

塚田南小合言葉

げんき

ほんき

大好き



4月7日 学級&開校式の様子



【学級の様子】
6年生の学級です。新しい出会いがありました。これからの学校生活に向けて、夢と希望がいっぱいの子供たちです。



松本文化教育長

【教育長の話】
多くの人の思いや願いが込められてつくられた塚田南小学校です。今日からはみなさんがこの塚田南小学校の歴史、伝統、校風をつくっていくのです。どうかみなさん、勉強に運動に一所懸命取り組んで、いろいろなことに挑戦してください。そしてみんなで力を合わせて、すばらしい学校をつくっていきましょう。



小池正樹校長

【校長先生の話】

素晴らしい学校をつくるために忘れてはならないことは、感謝の気持ちです。たくさんの人たちのおかげで、今日の開校式を迎えることができました。また、これからはたくさんの人たちに支えられて、学校の歴史がつくられていきます。だからこそ、感謝の気持ちを忘れず、「ありがとう」でいっぱい学校にしましょう。



児童代表 6年 渡邊琉生さん

【誓いの言葉】

今を楽しむということを大切に、できることを精一杯考えて、みんなが楽しめる学校行事やイベントをつくっていきたいです。また、年齢性別に捉われず、いろいろな人たちと仲良くなり、友達の輪を広げていきたいです。みんながアイデアを出し合い、協力して、笑顔あふれる学校を先生方とみんなで目指していきます。

5月18日 開校記念式典



校長式辞



テープカット



児童代表6年 池上 蓮さん

校章には「みんなで力を合わせて新しい学校を創っていく様子」が表現され、校歌には「みんな手を取り合って輝く光つくるんだ」という歌詞があります。私たちは、これから907人の仲間と手を取り合い、塚田南小学校の新たな歴史と伝統をつくります。そして、みんなが仲良く楽しく過ごせる学校を目指していきます。

誓いの言葉



校章作者へ感謝状及び記念品贈呈



くす玉割



樹入れ式